# 丹頂に見守られて…

丹頂結婚式十周年記念誌

# 目次

寄稿文…… 1
阿寒町長 佐々木三男
北海道釧路支庁長 土井龍雄
阿寒町議会議長 中島守一
阿寒町商工会長 山下照繁
阿寒町ツル愛護会会長 吉田勝美
丹頂フェスティバル14年の歴史…… 4
歴代実行委員座談会…… 10
大畑成市・吉田守人・平間博幸
早坂勝則・石川 守・坂本 淳
カップルのみなさんから一言…… 16
今回参加のカップル紹介…… 30
ポスター・チラシの紹介…… 33
カップル募集要項…… 34
阿寒町の紹介…… 35
あとがき…… 36
協賛事業所の紹介…… 37

阿寒町長
佐々木　三男

## 「丹頂結婚式」十周年に寄せて

タンチョウの舞うふるさと阿寒町、その冬のイベント代表として定着している「丹頂結婚式」がめでたく十周年を迎え、町民の皆様と共々心からお喜び申し上げます。

この「丹頂結婚式」は、14年前に手作りで始まった「丹頂フェスティバル」のメイン行事として第5回から開催され、これまで地域の青年達に支えられ今日まで継続されましたことに心から敬意を表します。このことは実行委員の皆様のご熱意とご努力はもとより、関係機関の方々、町民の皆様のご理解ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

阿寒町のタンチョウは町のシンボル、町民が心より愛し、大切に守り育てた、阿寒の自然のシンボルでもあります。この気持ちが、これから生涯を共にする新カップルを暖かく祝福し、阿寒を第二のふるさととする家族の輪を全国に広げつつあります。

すでに約50組近くのご夫婦が、冬の阿寒を訪れ、雪原に舞うタンチョウの祝福を受け巣立てられました。心に残る阿寒の自然に、再びファミリーを伴って阿寒を訪れていただける事と確信しています。また、全国のタンチョウカップルが阿寒の情報を多くの方々に伝えて頂けると期待しています。

この丹頂結婚式が今後も末永く継続され、全国にタンチョウの思い出を持つカップルを益々増やして頂きたいと思います。

そしてまたこの節にあたり、絶滅の危機にあったタンチョウを今日まで守り育てた先人各位のご苦労に、深く敬意を表するとともに、その意思をしっかり受け継ぎ、確実に守り発展させて行くことが、私どもに課せられた使命でもあります。そんな意味からも、地域の若者の団結で支えられるイベントを、青年交流や地域活性化、地域からの情報発信、自然保護活動等、そんな期待を込め、今後益々貴実行委員会が活性化され仲間を増やして、この楽しいイベントが益々盛会裏に推進されますことをご祈念申し上げ、お祝いのごあいさつといたします。

北海道釧路支庁長
土井　龍雄

## 十周年記念誌発刊を祝して

一生涯仲睦まじく過ごすといわれているタンチョウのつがいのように、結ばれた2人が、永遠の愛を誓いあい、幸福な家庭を築いて欲しいという願いをこめて開催されている、丹頂結婚式が十周年を迎えましたことを心からお祝い申し上げます。

釧路地域には、釧路湿原や阿寒国立公園を始めとする、広大な湿原や美しい湖、豊かな森林等、雄大な自然環境に恵まれており、世界的にも珍しい湿生昆虫や特別天然記念物に指定されているタンチョウやマリモ等、多くの貴重な動植物が棲息しております。

しかし、これらの自然は、湿原の乾燥化や気象条件の変動によって、大きく減少してしまう可能性があり、この豊かで、特色ある自然を後世に伝えていくためには、我々が手を取り合って守っていく必要があるとともに、自然との上手な付き合い方を考えていかなければいけません。

阿寒町においては、タンチョウが絶滅したと考えられた時期や10数羽しか確認されなかった時期もあったにも関わらず、成功例のなかった人工給仕に成功し、おおよそ600羽もの個体数を数えるに至ったものは自然を愛する心と、自然との関わり方を考えていこうとする、阿寒町に住む方々のたゆまぬ努力のたまものなのではなかろうかと考えております。　この十周年記念事業を契機として、釧路地域の雄大な自然環境の中で、自然を愛する人々に見守られて行われる丹頂フェスティバルや丹頂結婚式を通して、タンチョウを保護する心、そして、自然を愛する心が育成されていくとともに、これまで阿寒町において培われてきた精神が全国に向けて発信され、今後ますます多くの人の心の中に広まっていくものと期待しております。

最後になりましたが、今回この記念誌の発刊にあたられました、丹頂フェスティバル実行委員会のますますのご発展とご健勝を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

阿寒町議会議長
**中島　守一**

# 丹頂結婚式10周年を迎えて

阿寒町民のかねてからの念願であった「国際ツルセンター」が昨年４月に素晴らしい施設をもってオープンし、それを祝うがごとく丹頂鶴が集う今日の良き日に第14回阿寒町丹頂フェスティバルが開催され、その大きなイベントのひとつとして町内の各団体の若い人々が始めた「丹頂結婚式」が本年をもって10周年を迎えましたことは誠に意義深く、心からお祝い申し上げます。

顧みますと、町内の若いグループの人々が、一度つがうと一生仲睦まじく過ごすと言われている丹頂鶴にあやかって、鶴の見守る中で結婚式を挙げていただき、厳しい自然の湿原で懸命の子育てに励み、冬ともなれば白銀の雪のなかで優雅に舞い踊る姿、この思い出を胸に秘め、仲良く素晴らしい人生を送っていただきたいという願いを全国の若い方々に発信しましたところ、年を追うごとに数多くの方々の参加をいただき今日の盛会になったことと思います。

しかし、この間、実行委員会の皆様におかれましては、会場の準備を始め参加いただいた方々の接待等に大変なご尽力があったものと思います。これらの努力に対し、改めて敬意と感謝を申し上げます。私も当初から立会人として参加させていただき、数々の楽しい思い出もあります。特に感激したのは埼玉県川口市の方で、「正式に結婚式を挙げるので是非出席を」とご招待を受け、その宴席でお祝いの言葉を述べる光栄をいただき、その後年にはお子様を連れわが家にも遊びに来られ、今でも年賀を交わしております。また、先年阿蘇町を訪問したときも、「私たちの子供が孫が阿寒町の丹頂結婚式で結ばれた」という方々に大変な歓待を受けました。これも役得のひとつかなとも思っております。

平成５年の丹頂結婚式の時は、赤いベレーで参加カップルの歓迎会終了直後に釧路沖地震が発生し、もしこれが宴会最中ならば、鍋物も出ており、大火傷の可能性もあり、今にして思えば何事もなくほっと胸をなで下ろしている心境です。

いずれにしても楽しい思い出を持った方々が全国各地に数多く増えて、この阿寒町の自然や丹頂鶴の生態、鶴を愛し守り育ててきた阿寒町の人々の優しい気持ちを理解していただき、わが町のファンとして多くの人々に語りかけていただけるものと信じております。余すところ数年で21世紀を迎えます。この世紀は自然とあらゆる生物がどのような形で共生できうるかが大きな課題となることでしょう。我々先人が、絶滅に瀕した丹頂鶴を自らの食料を分け与えて守り続けて今日を迎えたことにまさに頭が下がる思いです。

実行委員会の皆様方も大変なご苦労もあろうかと思いますが、単なるフェスティバルではなく、このような大きな意義のある行事であると確信をいただき、末永く続けていただきたいと思います。

最後にご協力いただきました関係各位、またご協賛いただきました各社・各団体の皆様に心から感謝申し上げ、益々のご発展を祈念いたしましてお祝いの言葉といたします。

阿寒町商工会長
**山下　照繁**

## お祝いのことば

本年阿寒町丹頂フェスティバルが第14回となり、丹頂結婚式十周年を迎え、記念誌を発刊されますことは誠に意義深く、ご同慶にたえません。

顧みますと昭和五十八年一月商工会青年部が冬のお祭りを創造しようという事で、丹頂に感謝するためのフェスティバルとして企画実施されたのが始まりであります。

これをより発展させるべく町内の各団体、一般の若者が一堂に会し実行委員会を結成、この事業を継続し開催しております。

この間行事内容についても創意工夫をこらし町民、冬のイベントとして定着され今日に至っていることに対し心から敬意と感謝を申し上げる次第です。

この十年間には毎年「丹頂フェスティバル」において、全国各地からこの丹頂の里で、つがいの丹頂鶴の見守る中、白銀の世界で永遠の愛を誓いカップルが誕生している訳であります。

どうかわが町のシンボルでもあります丹頂鶴を育て愛する阿寒の人々の心が多くの人々によりひろがり、二十一世紀に向かって一層の飛躍と団結が図られることを祈念し簡単ではありますが丹頂結婚式十周年のお祝いを申し上げ挨拶と致します。

阿寒町ツル愛護会
会　長
**吉田　勝美**

## 記念誌の発刊を祝って

冬、身も凍りつく寒さの中を、町を愛する情熱に燃える青年有志によって、毎年開催されている「丹頂フェスティバル・丹頂結婚式」が十周年を迎えられたことに対し、実行委員の方々のこれ迄のご努力に先ずもって深く敬意と心からなる感謝を申し上げます。

これ迄に「丹頂結婚式」を挙げられ、千年の愛を誓い合われた約50組のカップルは、阿寒の町を、そして、丹頂の里で温かく迎えてくれた町民を、更に優雅端麗なタンチョウの美しさを、必ずや生涯を通して忘れ得ぬものと思います。

今年は、阿寒町開基百十年の記念すべき節目の年です。町民待望の「国際ツルセンター」の完成と併せて「皇太子御歌碑」の建立と、「タンチョウ愛護発祥の碑」の建立を見ることが出来ましたことは、いよいよ当町が鶴の町として広く知られるものと思われます。

私どものツル愛護会も30年の活動の成果を見ることが出来ましたのも、地域の人々と、そして、丹頂フェスティバル実行委員会委員のご協力の賜であります。

これからも、より関係を深め努力し合って、タンチョウ結婚式が回を重ねて、多くのタンチョウ結婚式を挙げられた方々が再度この地をおとずれ、あの日、あの時の喜びと感動を想い出して、永久に変わらぬ愛を深めていただきたいものと思います。

終わりに臨み、第十回のタンチョウ結婚式のご盛会と併せて今後もこの事業が成功裡に更なるご発展をご期待申し上げ、寒さの中をご苦労された実行委員のご努力に対し、重ねて敬意と感謝を申し上げ、祝辞といたします。

# 丹頂フェス14年の歩み

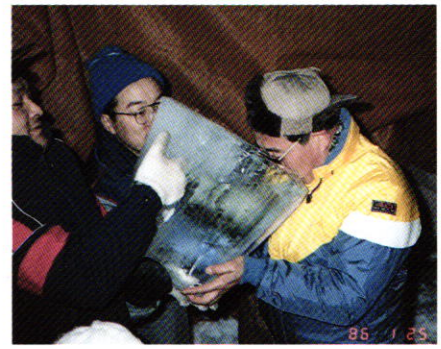
第1回丹頂フェス（共和国であった。S59年）

昭和59年、阿寒町商工青年部が冬のイベントを企画。

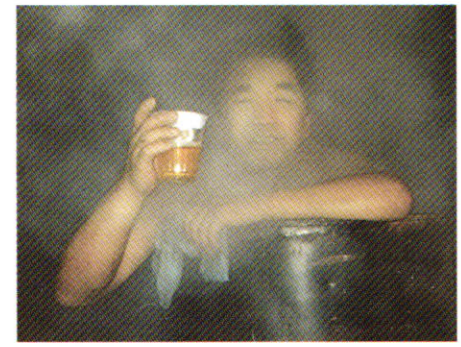
当初は共和国として開催されたイベントは2回目からタンチョウにちなんで、丹頂フェスティバルが生まれた。

第2回雪上長靴ホッケー（S60年）

第3回人間馬場（S61年）



第3回氷のグラスで乾杯（S61年）



第2回ドラム缶の露天風呂（S60年）

第5回（1988）より、丹頂結婚式が開催された。

前日の夜の結婚式で、歓迎会露天風呂、その他のイベントが行われた。エアロビクスダンスもそのひとつ。

第4回開会式（S62年）
（この写真しかない）

第5回エアロビクスダンス（S63年）

前夜祭入場（第6回）（H元年）

第2回結婚式（第6回H元年）

星空露天風呂カップル（第6回H元年）
狭いドラム缶に二人で入るのもいい！

第7回（1990年）から、日中のイベントが充実。

人間ボウリング、丸太切り、ミニSL、馬そり、阿寒太鼓などが加わった。

丹頂結婚式は順調に推移し、阿蘇町からの参加もこの年から。

第7回（H2年）阿寒太鼓（前夜祭）

第7回（H2年）人間ボウリング

第7回（H2年）丸太切り競争

第7回（H2年）ミニSLも登場

第7回（H2年）ポニーの馬そり

第8回（H3年）新郎新婦入場

第8回（H3年）結婚式会場夕鶴駅

第8回（H3年）星空観察会、釧路青少年科学館の協力

第8回（1991）は、本祭りを赤いベレーの隣で開催。
アスファルトの上でリンクをつくるのが難しく、苦労しました。

第8回（H3年）鶴の一声コンテスト。子供達は大喜び！

第9回（H4年）
坂本淳実行委員長、若い！
当時27歳

第9回（1992年）結婚式会場を移動
タンチョウの見守る中で・・との企画

第9回（H4年）1組だけの参加

**第9回（H4年）より丹頂結婚式は、日中開催へ。**

**人間ボウリング、丹頂ロールプレイングゲーム、全国鶴酒試飲会等、大勢の参加者で盛り上がった。**

第10回（H5年）お出迎え（みんな若い）

第9回（H4）魔王クッパ？

第10回（H5年）歓迎会

第10回（H5年）歓迎会

**第10回（1993年）は、釧路沖地震で、結婚式以外の行事は中止となりました。写真の歓迎会は、結婚式終了後に、急遽会場を押さえて行われました。**

第11回（H6年）新企画「夕鶴談議」
朝まで語ろうヨ！

第11回（H6年）マリモに感動

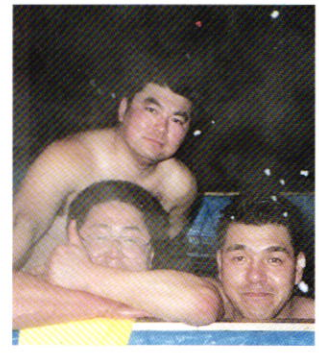
第11回（H6年）牛の乳搾り

第11回（1994）より、丹頂トライアルが復活し、賞金10万円を目指して、参加チームが、しのぎをけずりました。

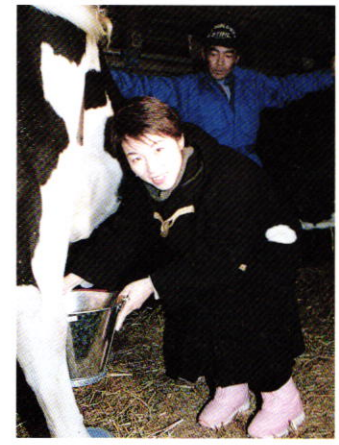
牛の丸焼きも、この回から。

第13回（H8年）結婚式参加者。（幸せそう！by坂本）

第12回（H7年）結婚式に家族や仲間も参加



第13回（H8年）やっぱり露天風呂



第13回（H8年）乳搾りも人気

第13回（H8年）歓迎会テントでの開催（寒い）

第12回（H7年）より丹頂絵画コンクール、犬ぞり体験試乗など、新しい行事が次々とスタート。

新登場風船プール（H8年）

丹頂トライアル（H8年）

アイヌチセで記念写真（H8年）

婚姻届を結婚式当日地元の役場に（熊本県　山崎さん）

釧路鶴公園では鶴のお出迎え。（大分県　佐藤さん）

新登場のワカサギ釣り、阿寒湖漁協の協力、1回200円

# 第14回丹頂フ
# （丹頂結婚式1

丹頂結婚式10周年を迎え、結婚式の衣装を新調。スタッフの努力と貸衣装店「衣舞」さんの協力でおしゃれな衣装に。
参加カップルは5組、阿蘇町からの参加カップルは、妊娠5カ月、スタッフと参加者の暖かなサポートで、無事に参加できました。

こちらは結婚式参加者のワカサギ釣り

姉妹都市提携10周年記念で阿蘇町を訪れた実行委員長と
阿蘇町からの歴代参加者との再会

阿蘇町から参加の野口さん

10周年、5組の参加者。
新調した衣装に注目してください

# ェスティバル
# 0周年）平成9年

イベントは、新たに「ワカサギ釣り」、「雪合戦」、「ナインゲーム」が登場。どれも人気抜群でした。

牛の丸焼き、全国鶴酒試飲会、風船プールは例年通りの開催。丹頂芸術祭は、写真、木彫作品も出展。

阿寒町から参加の福田さん
歴代佐々木さん、山口さんに続く3組目

結婚式終了の朝、結婚式担当スタッフとの記念写真

結婚式参加者の歩くスキー体験

# 「十年の歩み」

**大畑（おおはた）　成市（せいいち）**（35）

この座談会の司会者。
丹頂フェスティバルの初期から忙しい農作業の合間をぬって手伝いに参加。
現在、実行委員会事務局長。酪農業に従事。

**司　会**　「それではこれから丹頂結婚式十周年記念座談会を開催したいと思います。まず、実行委員長の坂本君から一言。」

**坂　本**　「みなさん、今日は。これから丹頂結婚式10年の歴史をひもといてみたいと思いますので、どうかきたんのないご意見をよろしくお願いします。」

**司　会**　「参加者のみなさん、自己紹介をそれぞれお願いします。」

**吉　田**　「吉田です。丹頂フェスの最初から手伝っています。第3、4、5回のフェスティバルの時に実行委員長をやらしてもらいました。」

**平　間**　「私が関わっていたのは最初からで、6、7、8回の実行委員長をやりました。」

**石　川**　「酒は最初の回から飲んでいましたが、運営に携わるようになったのは2回目からだと思います。」

**早　坂**　「早坂です。今年から結婚式部会の部長という大役をおおせつかっています。
11年前に商工会に入会した時、すでに丹頂フェスがありました。その時には、吉田さんが実行委員長をやっていました。」

**坂　本**　「第8回からお手伝いをしています。9回目から実行委員長をやりはじめまして、今年で6回目になります。」

**司　会**　「自分は事務局長が3年目です。その前には行事部会を担当していました。」

**司　会**　「丹頂フェスティバルという名称の由来、前身となった行事はどんな内容の物だったのでしょうか？。」

**吉　田**　「丹頂フェスティバルの前は、商工青年部の冬の祭りということで、『丹頂共和国』と呼ばれてまして、鶴の気持ちになって一晩、酒でも飲もうやということで、かまくらの中で遊んでいたのがはじまりで…。
2年目から丹頂フェスティバルという名前になりました。当時から行事内容は丹頂にこだわりを持ってまして、五衛門風呂は第1回めからドラム缶でやってたね。」

**平間・石川**　「そうそう、第1回からあった。」

**吉　田**　「ドラム缶の外側がかなり熱くなって、おしりにやけどしたり(笑)、釧路から女の子が3人やってきて、おふろに入ったりして。それが、丹頂結婚式をやろうというきっかけになったのではないかな。」

**坂　本**　「その当時も今の場所で開催してたのですか？。」

**平　間**　「自然休養村キャンプ場の奥にあった焼肉コーナーの辺りがメインだった。」

**吉　田**　「とにかく、焼酎がしばれるほどに寒かった（笑)。」

**坂　本**　「参加人数は？。」

**吉　田**　「せいぜい、30から40人位だったと思います。もっといたかな？焼肉コーナーの半分を使って、満杯だった。」

石　川　「飲みに行くぞーと、誰かに誘われて（笑）。役場青年部ではなく、個人として参加していた。」

司　会　「具体的に丹頂結婚式をやろうと始めたのは？」

吉　田　「たぶん、僕だったと思うんですが（笑）。第５回の丹頂フェスティバルからですね。鶴神社を丹頂の里に作ろうという話があって、丹頂のつがいという部分から結婚式に発展していったのかな。」

平　間　「商工青年部の中で、飲みながらだんだん話がふくらんでいったなあ（笑）。」

吉　田　「実行委員会を作ったのは、最初の結婚式をやるためだった。その事で、商工青年部の中でも激しい議論があって、もめたこともあった。でも、祭りを大きくしていく為には商工青年部だけではなく、役場青年部、農協青年部などにも声をかけてみんなで、大勢でやりたいという気持ちがあって、実行委員会を作ることがいいだろうと、５回目のフェスティバルの時に、商工青年部主催から実行委員会体制に移行した。」

坂　本　「もめた、というのは？」

吉　田　「経営者でもない、後継者でもない部員は、商工青年部主催でないと、手伝いを含めて参加できなくなるということがあったりして。でも、一方ではイベントを大きくしていきたいとう気持ちもあって…。」

平　間　「丹頂結婚式が現実にできた後ろ楯は、当時の営林署長、平野さんの力が大きかった。平野さんの友人に結婚式に来てもらったり…。新聞にも大きく取り上げられた。東京新聞、日本農業新聞とか。」

司　会　「丹頂結婚式でなにか面白いエピソードは？」

早　坂　「昨年、参加した北九州のカップルのご両親。前夜祭でのりまくって、ケガまでしたりして。でも、ご家族の人が来てくれるってのはすごくうれしい。

　それから、阿蘇から来たカップルがすごく仲が悪くて、けんかばかりして、あまり話をしなかったので帰った後がすごく心配（笑）。でも、そのあと阿蘇に行った時に、うまくやってるかい？と聞いたところ、もう子供ができたと聞いて、安心しました。」

平　間　「第５回の時、雪のステージ作りを結婚式の直前までやっていたこと。当時は夜の結婚式で、カップル入場の時、たいまつを持って入場していたのが、第６回のときにでかいステージと巨大なキャンプファイヤーを作ったときに、灯油を600リッターもかけたので点火したとたん物凄い火柱があがって（笑）。

　会場で飲みすぎて、二次会の管理センターまでどうやって移動したのかわからなかったり（笑）。

　挨拶文を書いてポケットに入れておいたら、いざ本番の時に、どこ

吉田　守人（よしだ　もりひと）（47）

第３～５回の実行委員長。現在は影からフェスティバルを支えている。

平成７年より阿寒町議会議員。職業は自動車修理会社経営。

平間（ひらま） 博幸（ひろゆき）（42）

第6～8回の実行委員長。現在は丹頂結婚式の影のスタッフ。愛称　へぼさん。
職業は阿寒家具センターの専務。

へいったか分からなくなった事もあったなあ。

第7回から9回まではカップルの応募が少なくて、すごく困ったのを覚えている。やめてしまおうかとまで思った。

第8回の時は連絡ミスで、ベレーが一泊とれなくてキャンプ場のバンガローに泊まってもらった。灯油ストーブを急遽準備したりして。」

**吉　田**「最初の2、3年は阿寒湖畔のホテルにも泊まってもらった。赤いベレーが出来る前だったしね。」

**石　川**「寄付集めもたいへんだったよね。」

**平　間**「10回目から地元のカップルも2組続いたりして。こういうのがあればなあと思いました。」

**司　会**「地震の時も大変でしたよね。」

**早　坂**「10回目のフェスの時だったよね。」

**坂　本**「役場前で前夜祭をやる予定だったのが全部ダメになった。」

**石　川**「あの時は、当日の午前中に阿寒湖畔に行って、午後から観察センターで結婚式を挙げるという強行スケジュールで…。」

**坂　本**「あの時、動けたのは僕と石川さん、平間さんと中村眞知さんだけで、あとの人はみんな、地震の後片付けをやっていた。」

**石　川**「地震でカップルも大変だったけど、一生忘れられない思い出になったのでは。上から電灯の傘が落ちてきたりして…。」

**坂　本**「地震直後あわてて役場前の会場を見に行ったら、会場はほとんど何ともなかったんだけど、道路の信号も消えてて家の灯も見えない。役場の中をのぞいたら書類棚やパソコンがひっくり返ってたりして。これはダメだなと…。」

**吉　田**「6回目の時のステージ造りが思い出深いね。壁に雪を付けるのが大変で、今日はもうやめようとしたところ、石川君が、いま帰ったらもうできないべさ！と真っ赤になって怒って。とうとう深夜まで作業をしたりとか。」

**平　間**「結構、夜12時過ぎまで、というのもあったなあ。」

**吉　田**「古い我々にとっては大型雪像を作ることにこだわりがあったりして。八幡重機さんに湖畔から雪を運んできてもらって。」

**石　川**「牧場から2トン車で、牛の糞がまざった雪を運んで来たりとか（笑）。」

**吉　田**「その雪の壁のために個人で28万だしてロータリーを買ったり。鶴の形をした電飾アーチを一週間かけて作ったり…。実行委員長がへべれけになって車を運転して管理センターまで行ったり。実は本人は全く記憶が無い（笑）。

5回目の時、あるカップルが常にベタベタでとても印象的。あるカップルには奥さんが愛想が悪かったので、酔って、おまえが一番心配だ！　と言ったりして。

この時は参加申し込みが多くて、阿寒に来てもらう条件が五衛門風呂に入ってもらうことで、みんな水着持参。また、飛行機が悪天候で

飛ばなかったり、着陸地が変更になったりして、ひどい目にあった事がある。」

**坂　本**「飛行機が札幌に降りて、それから釧路までＪＲ移動で赤いベレーに着いたのが午後10時。それから歓迎レセプション、来賓の方々が怒って帰りそうになった（笑）。」

**吉　田**「お金もなかったので、当時商工会の指導員だった酒井さんに頼んで、記録ビデオを撮ってもらったんだけど編集が大変だった。」

**石　川**「最初の結婚式の時は、朝の４時半まで飲んでいた。カップルの男性陣も一緒に飲んでて、そのうち奥さんが起きてきて、いつまで飲んでんの！って怒られたり（笑）。何回目の時か、ステージを作ったのはいいけれど、すごい風が吹いてて横断幕がビリビリになって、夜中の12時頃、それを酔っぱらいながらはがした記憶もある。」

**坂　本**「やっぱり10回目のフェスが地震によって結婚式以外、中止になったのが一番の思い出ですね。観察センターで結婚式を行ったあと、ごく少数のスタッフとカップル達で、管理センターで日本酒のいっき飲みをしたり。

赤いベレーに戻ったのはいいけれど、朝トイレで寝てる人がいたり（笑）。

あとは、復活した露天風呂に最初から最後まで、２時間近く入った事。阿蘇から来た石松くんは風呂から雪の中にダイビングしたりして、朝起きたら胸から足にかけて擦り傷だらけとか（笑）。」

**石　川**「ドラムカン風呂をやった時は、どこかでお湯を汲んできて、休養村まで運んでいったなあ。」

**坂　本**「現在、露天風呂に使用しているあずま家を移動するときに、下敷きになりそうになった奴がいたり。会場の芝生を傷めて、春になってから怒られたり。」

**司　会**「第７回の時にポコ・ア・ポコに合唱をしてもらったんだけど、お客さんがだれもいなくなって、お母さんたちがすごく怒って帰ったのを覚えてる（笑）。」

**司　会**「結婚式以外の行事での思い出は？」

**平　間**「何といってもサバイバルゲーム。マットで体をまいて坂からすべっていくんだけど、あとで聞いたら肋骨にヒビがはいった人がいたという話も。」

**吉　田**「丹頂トライアルで、かんじき競争をやった時、足が上がらなくて転んでばかりいる奴がいて（笑）。優勝賞金10万円は釧路教育大学の連中にもっていかれたなあ。」

**石　川**「あれは、かんじき、丸太引きがあって、そりがあって、やってる方は地獄だった。」

早坂（はやさか）　勝則（かつのり）（39）

第13～14回の副委員長。また商工会青年部の部長も努める。職業は阿寒サンオイル商事の所長。

愛称　かっちさん。

石川（いしかわ）　守（まもる）（33）

第１回目から何らかの形で参加している。
最近は結婚式のスタッフが主な担当。
職業は阿寒町教育委員会に勤務。

**吉　田**　「鶴の一声コンテストってのもあったよね。声の測定器を陸運から借りてきたんだけど、それを借りるまでも大変だった。
　それから休養村の池をどうやって凍らせるかってこともいろいろ苦労した。」

**司　会**　「それでは、そろそろ座談会も終わりに近づいてきましたので、丹頂フェスの未来展望ということで、これからこのイベントがどうなっていくのか？いくべきか。
　夢みたいな物についてお一人づつお願いします。」

**平　間**　「自分が実行委員長時代、丹頂フェスティバルを観光イベントにしてくれと役場に頼みにいったことがある。
　何が一番たいへんかといったら、やはりお金の面、と人的労力の面。14回やってきたのだから、それなりに認めてもらうイベントになってきたのではないか。
　国際鶴センターが出来たりして、その中で町として観光イベントとしての位置づけが欲しい。たくさんの人が集まってくれるイベントにしたいなと思う。
　スタッフも丹頂フェスをやってる喜びとか、誇りに思えるようなイベントであってほしい。ＰＲ活動をしっかりやっていけば、大きなイベントになると思う。」

**吉　田**　「いずれにしても、ずっと続いてほしい。
最初から関わってきた者として、実行委員会組織が大きくなりつつありその中で横の輪も形成されつつある。その中で、みんな一人一人が何をやればいいのかなってことを考えればいいと思う。
　当初から大雪像に主眼をおいて考えているので、できれば小さくてもいいから、皆で雪像を作ってほしい。
　丹頂結婚式はずっと続けてほしい。参加した人達は阿寒町のファン。そういう地道な継続から阿寒とのつながりがでてくる。20年、30年とやっていけばこちらに住んでくれる人も出てくるし、実際来てる人もいる。
　今年、夏に行われたヨサコイ・ホロロン祭りをみていると、阿寒の若い人達にはまだまだエネルギーがあるなと感じた。それがここに集まれば…。
　鶴神社構想が国際鶴センターになっていったし、町の協力ももらえるだろう。また、鶴になった女、吉永小百合さんをぜひ、丹頂フェスティバルに来ていただけるように努力したい。鶴の保護活動の歴史を理解してもらいながら、鶴大使としての活動を希望している。」

**司　会**　「吉田さんには、『丹頂フェスを勝手に応援する会』ということでお世話になっています。」

**吉　田**　「まだ、初めて２回目ですが来年以降も仕掛けていきたい。」

**石　川**　「いずれ以前に参加したカップルを子供連れで呼びたい。もうすこし、遊べるもの、楽しいものを、スタッフが一緒に楽しめるようなものを考えていったらいいと思う。そうすればもっと長続きするのじゃないか。」

**司　会**　「丹頂フェスには長く関わっているが、事務局をやるようになってすごく大変だなと実感した。今年のヨサコイを見ていると、町民が何をお祭りに求めているのか、ということが判ったような気もする。」

**坂　本**　「自分も実行委員長６回目ということで、来年以降はどうなるか定かではない。なるようになると開き直って考えてはいるが…。

将来の目標としていくつか考えていることはある。

１、鶴酒試飲会を鶴酒サミットに発展させたい。結婚式同様に日本で唯一行われているイベントとして考えると非常に価値観は高いと思う。

２、北海道、あるいは全国でイベントの中で結婚式を行っている自治体や関係者と連絡を取り合い、できれば結婚式サミットを開いて情報、ノウハウを勉強したい。

３、隣の鶴居村で行われているタンチョウフェスティバルと何かの協力体制をとりたい。同じく丹頂保護を行っている町どうし、手を取り合ってやっていけるのでなないか。」

**司　会**　「本日は、お忙しい中みなさんありがとうございました。」

さかもと　あつし
**坂本　　淳**（31）

第９回～１４回の実行委員長。今回の参加者の中で、唯一の独身者。
職業は野菜専業農家。
愛称　あっちゃん。

（昭和63年1月16日、丹頂の里にて）

# 第5回 丹頂フェスティバル

記念すべき第1回目の丹頂結婚式は全国各地から7組のカップルを招いて行われました。

| | | |
|---|---|---|
| 東京都 | 古山 | 幸広・ゆみこ |
| 東京都 | 中島 | よしみ・久子 |
| 長野県 | 田村 | 正治・聡子 |
| 長野県 | 井口 | 一男・英子 |
| 札幌市 | 波内 | 敏彦・しおり |
| 埼玉県 | 太田 | 順一・ |
| 釧路市 | 若崎 | 伸治・裕樹子 |

## 井口ご夫婦、当時を振り返って

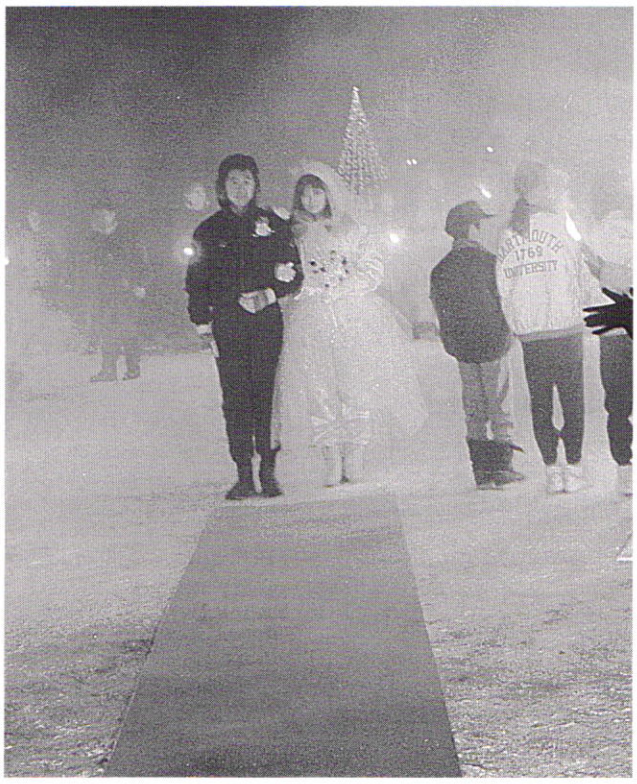
結婚が決まっていた冬、たまたま新聞で丹頂結婚式の募集を目にし、記念にできればと思い応募しました。

あの寒さの中、ドラム缶のお風呂に入った事や、フェスティバル委員の皆様が作ってくださったウエディングドレスを着て歩けたこと。雪の上での運動会（？）等、楽しい思い出がすぐに思い出されます。

平成8年6月に3人目の子供が生まれ、新居もまもなく建ちあがる予定です。

（平成8年7月7日、ご二男のお宮参り）

## 第6回 丹頂フェスティバル



2回目の丹頂結婚式は全国から6組が参加して下さいました。建設協会のご協力で前年以上の大きなステージを作っていただき、スノーモービルで手作りのソリを引っ張り、発煙筒を焚いてのカップル入場が話題になりました。

釧路市　小島　仁・久美
　　さとうしんじ・ふみえ
埼玉県　しんどうゆたか・さちこ
札幌市　おやまだひとし・みほ
札幌市　くまがやはじめ・ようこ
兵庫県　小林としひこ・よしえ

（資料不足のため、お名前の確認がとれませんでした）

（平成2年1月20日、丹頂の里にて）

# 第7回丹頂フェスティバル

第3回目の丹頂結婚式は実行委員の努力も空しく、2組だけの参加でした。この時は、イベントから結婚式まですべての行事を一日でこなした回です。また、姉妹都市の阿蘇町から初めてカップルが参加してくださったのもこの時です。

茨城県　後藤　義幸・幸子
阿蘇町　藤本　澄朝・きよみ

## 藤本ご夫婦、当時を振り返って

熊本日日新聞を読んでいたら募集記事が載っていました。新婚旅行が道南方面だったので、また違う北海道に行きたくて応募しました。阿寒町の方々に祝福して頂きうれしかったです。

寒いと思っていたのですがそれほどでもなく、初めて馬車に乗ってすこし怖い思いをしたのが思い出です。

阿蘇に帰ってからとても感激した結婚式のことを役場の方に話して、次回からは姉妹都市の阿蘇町から必ず一組参加できるようにお願いをしました。

４年まえに待望の長男が生まれ、今は幼稚園に通っています。私たちは6年前とあまり変わりなく元気に過ごしております。

（平成八年八月、ご長男と）

## 第８回丹頂フェスティバル

第４回目の丹頂結婚式は六組が参加下さいましたが、結婚式前日に大雪が降り飛行機が釧路に着陸できず、ＪＲに間に合うかどうか実行委員もやきもきしました。夜の結婚式はこの回が最後となってます。

東京都　師岡　　悟・康子
東京都　田口あきら・阿佐美
阿蘇町　中島　良治・佐代子
札幌市　山本　　要・恵
札幌市　清野　宏治・珠乃
阿寒町　佐々木政美・道枝

（平成三年一月十九日、丹頂の里にて）

（平成八年八月、ご家族で）

### 師岡ご夫婦、当時を振り返って

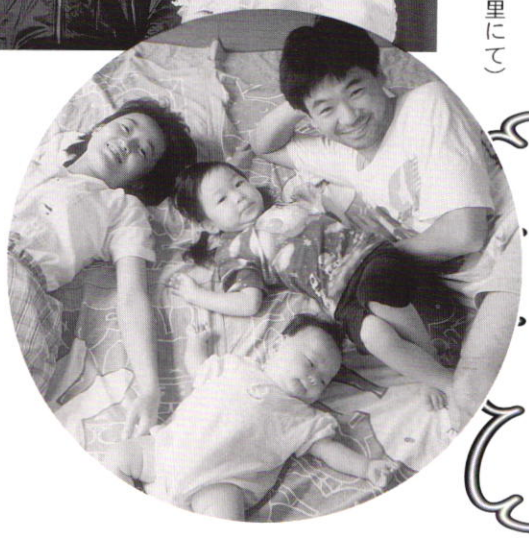
親類に紹介されて参加しました。一生に一度の事なので思い出に残ったほうが楽しいからと安易に……。

寒かったけど楽しくてロマンチックでしたね。今でも思い出します。参加カップルの中では私たちが一番年齢が上でしたけど、一番初々しいと言われました。

今は、子ども二人を保育園にあずけ、仕事をしています。お互いの時間を調整しながら何とかやってます。

ちなみに上の子が三才。下の子が一才です。

（平成三年一月十九日、丹頂の里にて）



（平成八年九月、ご自宅で）

### 田口ご夫婦、当時を振り返って

東京新聞で募集記事を読みました。主人のご両親に勧められ初めての北海道へ（それも雪の季節に）。

期待と不安の気持ちで参加しましたが、阿寒町のみんさんが我がことのように祝福してくださったこと。

とても忘れられない一生の思い出となりました。

今は一男一女に恵まれ、ドタバタしながらも幸せに暮らしております。

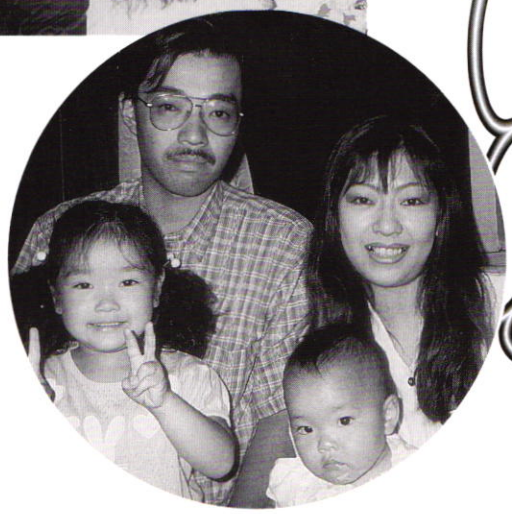
（平成三年一月十九日、丹頂の里にて）

## 清野ご夫妻、当時を振り返って

北海道新聞で参加者募集を知りました。ホテルでする結婚式とまた違った感動を味わえると思ったので申し込みました。実行委員のみなさんや他のカップルの方々と過ごせた阿寒での数日間、とても楽しかった。全然知らない地元の見にきてくださった方々からの「おめでとう」の言葉が大変うれしかったです。上の子が三才。下の子が8月7日で一才になり育児も少し楽になってきました。

今度、また阿寒に遊びに行ってみたいと思います。丹頂フェスティバル結婚式は大変だと思いますが、できるかぎり続けてもらいたいと思います。

私たちは毎年一月になると阿寒での楽しかった日々を思い出しております。



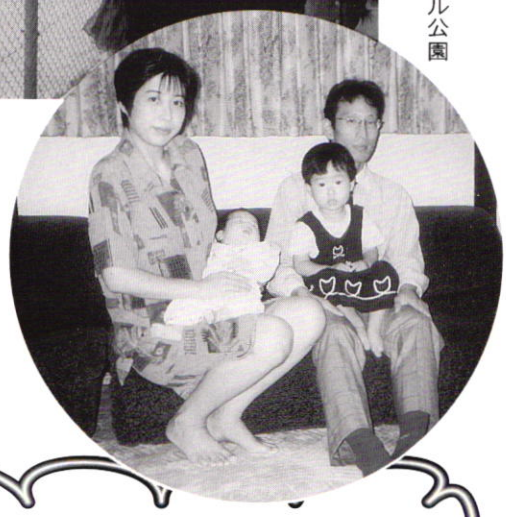
（平成八年九月、ご自宅で）

## 第9回 丹頂フェスティバル

5回目の丹頂結婚式は地元阿寒町から1組だけの参加です。実行委員会の力不足もあり、開催数日前になってようやくカップルが決まるあわただしさでした。初めて丹頂観察センターで日中に結婚式が行われ、本祭りも丹頂の里から富士見公園へ場所を移して開催された回です。

阿寒町 山口里志・恵里子

（平成五年一月十六日、ツル公園にて）



（平成八年八月、ご家族で）

# 第10回 丹頂フェスティバル

第６回目の丹頂結婚式は10回目のフェスティバルということで７組の参加となりました。久々に夜の結婚式を企画していたのですが、１月15日午後８時過ぎに発生した釧路沖地震によって大幅に内容変更となり、結婚式のみの開催。しかも大雪のため帰りの飛行機が飛ばず、日程が一日延びるという大変な年でした。

| | | |
|---|---|---|
| 岐阜県 | 藤吉 | 紀行・里美 |
| 千葉県 | 森川 | 康弘・あさ子 |
| 阿蘇町 | 小島 | 誠・裕子 |
| 札幌市 | 高橋 | 克也・亜美 |
| 札幌市 | 高木 | 昭典・洋子 |
| 釧路市 | 斎藤 | 巧・静 |
| 阿寒町 | 秋良 | 稔・早苗 |

（平成五年一月十六日、丹頂の里にて）

## 藤吉ご夫妻、当時を振り返って

職場の上司にすすめられて応募しました。釧路沖地震がおきて、セレモニーができなかったこと。最終日、雪のために飛行機が飛ばず、一日延泊し、次の日釧路湿原に連れていっていただいたことが思い出に残っています。

早いもので参加してから３年半が過ぎました。平成６年に長女が生まれ、８年には長男が生まれ、忙しいながら楽しい毎日を過ごしています。

いつか子どもたちと一緒に阿寒町へ遊びに行きたいと思っています。みなさんも岐阜の方へお越しの際は、ぜひお立ち寄り下さい。

## 高木ご夫妻、当時を振り返って

雑誌を読んで募集を知りました。正式な結婚式を行っていなかった為、申し込むことにしました。

思わぬ震災があり、本来のフェスティバルとは違ってしまった様ですが、貴重で楽しい思い出として今も心に残っています。今は、毎日忙しい日々を過ごしています。

## 第11回 丹頂フェスティバル

第７回目の丹頂結婚式は７組に参加していただきました。イベントでは障害物競争丹頂トライアルが思いがけず好評で、カップルのみなさんにも参加していただきましたが、悪戦苦闘の連続でたいへんな思い出となったと思います。

苫小牧　五十川哲也・智子
札幌市　阿部　一孝・尚子
東京都　坂本　忠光・久美
東京都　三戸　芳行・絵里
東京都　石野　裕之・寧子
神奈川　相澤　宗雄・美紀
阿蘇町　洞田貫優造・二三子

（平成六年一月十六日、丹頂の里にて）

（平成八年、ご自宅で）

### 五十川ご夫妻、当時を振り返って

毎日新聞を読んで結婚式のことを知り、とてもロマンチックで大きなスケールを感じ、ぜひ参加したく応募しました。美しい丹頂と晴れ渡った青空が今でも思い出されその中での結婚式はとても感動的でした。

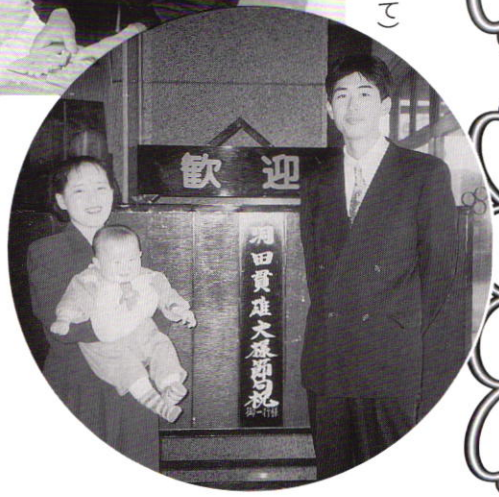
冬が来てテレビなどで丹頂結婚式を拝見するたびに、自分たちのことが昨日のように思い出されます。

ふたりとも三年間で10キロずつ仲良くオーバーウエイトになり、わが家は相撲部屋のようになってます。

十周年には私たちも又、厳冬の阿寒に行ってみたいと計画を立てています。

みなさまの健康とますますの発展を心より祈しております。

（平成六年一月十六日、丹頂の里にて）



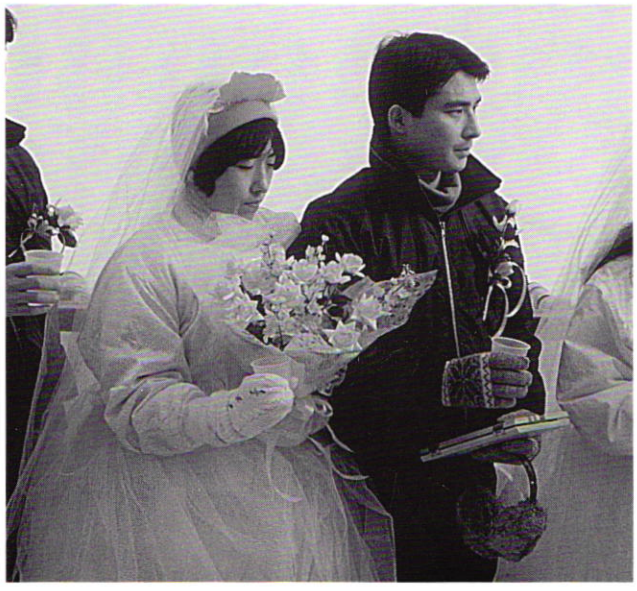

（平成八年、ご家族で）

### 洞田貫ご夫妻、当時を振り返って

町の広報で知りました。一生に一度のことなので、思い出に残るような結婚式をしたいと思い応募しました。

初対面の人ばかりでの３泊４日でしたが、みんな気持ちの良い人ばかりでとても楽しく過ごすことができました。手作りのウエディングドレスがかわいくて、寒さもあまり感じないくらい暖かく、心のこもった結婚式に感激した。

昨年11月に待望の子どもが生まれ、今年４月に永年の夢だった牛舎が完成と、忙しい毎日を送ってます。



（平成6年1月16日、丹頂の里にて）

## 三戸ご夫妻、当時を振り返って

阿寒町の知人に紹介されました。むかしお世話になった阿寒の自然の中で結婚式をあげたかったので。

阿寒のみなさんの温かい手作り結婚式で、ほんとうに一生の思い出になりました。丹頂鶴まで祝福してくれて、真っ白な雪の中で…。阿寒町は私たちの心の故郷です。

二人ともお互いの仕事が忙しすぎて子供のできるヒマがありません！？。

丹頂フェスティバル実行委員会の東京局員のつもりでいますので、何かあればいつでも連絡下さい。

## 第12回 丹頂フェスティバル

第８回目の丹頂結婚式は５組の参加です。この頃から参加申し込みも増え、カップルの選考に実行委員は頭を痛めています。また雪の少ない年で、結婚式も各種イベントもたいへん苦労しました。

札幌市　吉村　　学・美樹
苫小牧　森田　章央・しづえ
東京都　高橋　　洋・陽子
神奈川　井手　繁之・智美
阿蘇町　石松　昭信・美穂

（平成七年一月二十二日、丹頂の里にて）

### 高橋ご夫妻、当時を振り返って

知人に参加を勧められまして、丹頂結婚式という名前（タイトル）にひかれて参加しようと決めました。

雪が少なくて、結婚式が始まった時は一羽もいなかった丹頂鶴が、式の途中で来てくれたのがうれしかった。

10月に待望の赤ちゃんが生まれます。

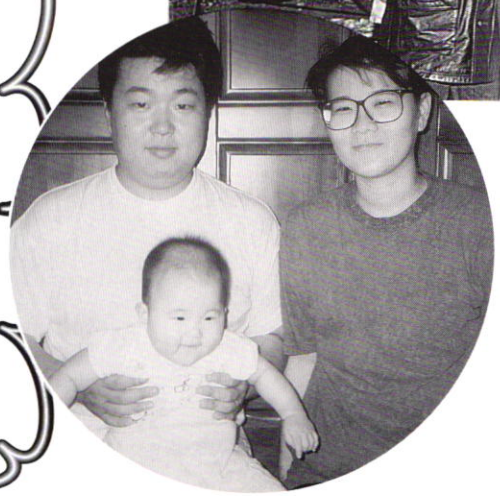
（平成七年一月二十二日、丹頂の里にて）

### 森田ご夫妻、当時を振り返って

私の母が突然、北海道新聞のカップル募集の切り抜きを送ってきたので軽い気持ちで応募したのがきっかけです。この丹頂結婚式に私たちの両親と祖母が夜中に車を走らせて参列してくれたことが嬉しかったです。

今は六ヵ月のパパとママになり、毎日奮闘しています。特にパパは日に日に成長する娘にベタベタです。

今度は冬の阿寒に親子三人で旅行に行きたいなと思います。これからも丹頂フェスティバルのメインイベントとして丹頂結婚式ガンバレ！



（平成八年八月、ご家族で）

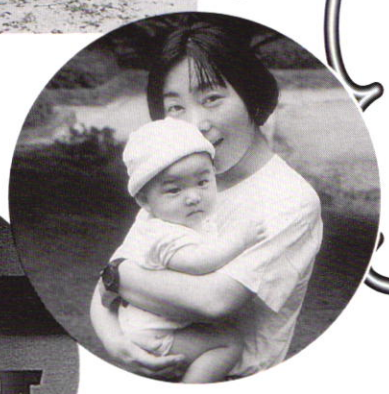
（平成七年一月二十二日、丹頂の里にて）

## 井手ご夫妻、当時を振り返って

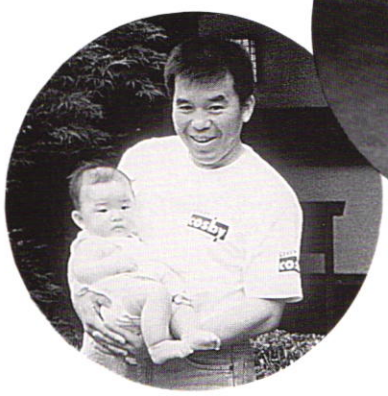
実家が釧路なので以前から近郊のイベントとして知っていました。以前よりイベントでの結婚式を考えていましたので。結婚式はもちろんのこと、歓迎のレセプション、キャンドルサービス、バーベキュー、わかさぎつり、スノーモービル、また赤いベレーでの交流会など思い出深いものがありますが、中でも皆で参加した丹頂トライアルは忘れられず楽しい思い出です。

今は子供にも恵まれ、楽しく元気に生活しております。どうぞこれからも、皆さんますます素敵な結婚式を、そして素敵なカップルを送り出すように頑張って下さい。

またいつかお会い出来ることを楽しみにしております。



（平成8年6月、ご自宅で）



（平成七年一月二十二日、丹頂の里にて）

## 石松ご夫妻、当時を振り返って

阿寒町と姉妹都市の関係で知っていました。またお互いの友人が丹頂結婚式に参加して「すごく感動して楽しかったよ」と聞いて応募しました。

テレビでしか見ることのなかった丹頂鶴を間近で見ることができ、式の最中に遠くの空から舞い降りてくれたのが、すごく感激しました。そして、なによりも沢山の方との出会いが私どもには嬉しい事でした。皆で入った露天風呂が忘れられません。

主人は結婚して10キロも太ってしまい只今ダイエット中です。

（平成八年、旅行先で）

## 第13回 丹頂フェスティバル

第９回目の結婚式は５組の参加です。実行委員の同級生の方が参加されたり、九州からご家族が大勢お祝いにいらしたりと、にぎやかな結婚式でした。

例年になく雪の多い年で、何回も会場除雪をしたりとスタッフは体力勝負の回でした。

| | | |
|---|---|---|
| 福岡県 | 岡本 | 大将・美奈 |
| 埼玉県 | 柏木 | 利一・真紀子 |
| 阿蘇町 | 若宮 | 誠二・多代 |
| 神奈川県 | 川口 | 建逸・久仁子 |
| 釧路市 | 井樫 | 博之・広恵 |

（平成八年一月二十一日、丹頂の里にて）

（平成八年三月、地元での結婚式）

### 岡本ご夫妻、当時を振り返って

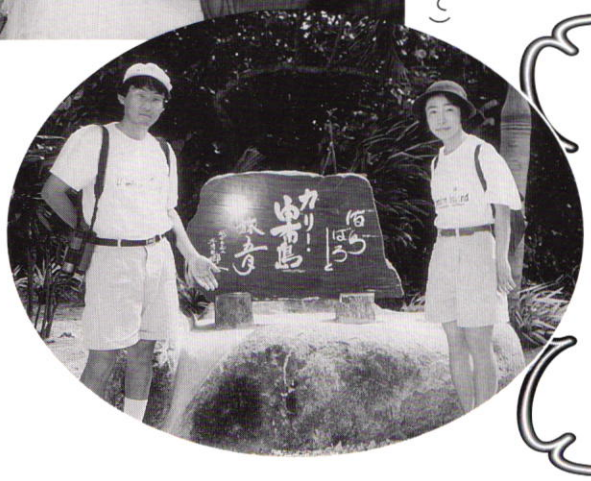
毎日新聞で知りました。自然の中で式を挙げたかったことと、日程があっていたので参加しました。

すべてが素晴らしい思い出です。そちらに良いお友達ができたと思っています。しかし、その節は父母が大変なご迷惑をおかけしました。……。二人とも元気です。

結婚して半年ちょっとたちましたが、ようやく生活そのものがおちついてきました。夏はキャンプに行くなどして楽しんでます。

また近いうちにそちらに遊びにいこうと思ってますので、その時は宜しくお願いします。

（平成八年一月二十一日、丹頂の里にて）



（平成八年七月、沖縄にて）

### 柏木ご夫妻、当時を振り返って

二人とも結婚式は思い出に残るものにしたいと考えていましたが、なかなかいいアイディアが浮かばず迷っていました。そんな時、妻の父が朝日新聞の募集記事を見つけ応募を勧めてくれて、私たちも「ダメもと」の思いで応募したわけです。

素晴らしい自然の中で、沢山のタンチョウやエゾシカ又多くの皆様に見守られながら厳粛な雰囲気のもと、最初はリラックスしていたのですが式の進行と共に徐々に緊張し、「ジーン」と熱いものがこみ上げてきてとても感動しました。

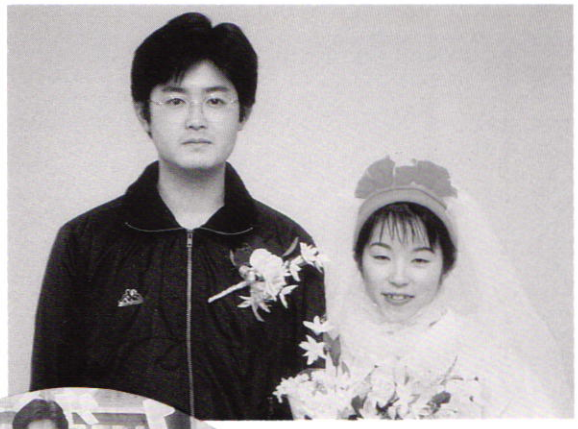
（平成八年一月二十一日、丹頂の里にて）

## 井樫ご夫妻、当時を振り返って

阿寒町出身なので丹頂結婚式のことは知っていました。思い出に残る結婚式になるのではないかと思い、応募しました。阿寒町の方々の暖かいおもてなしが、一番心に残った思い出です。3泊4日。朝から晩までいたれりつくせりで、結婚式という緊張感はあったものの、心身ともにリフレッシュすることができました。

3月3日の結婚を祝う会には、祝電までいただいて、誠にありがとうございます。色々ありましたが、生活も落ちついて私たちは新婚生活を楽しんでおります。

（平成八年五月、お二人で）



（平成八年一月二十一日、丹頂の里にて）

## 川口ご夫妻、当時を振り返って

朝日新聞で知りました。北海道の大自然のなかで挙式できたのはとても良い記念となりました。真っ白な雪と丹頂の鳴き声が印象的です。

私たちも結婚して一年となり、この一年も主人の転勤やら何やらであっという間にすぎてしまいました。

主人は仕事と建築士の免許取得に向けて、私はお菓子教室の開業という夢に向けて頑張っています。

いつの日か、私たちに子供が出来たら家族で思い出の阿寒に旅行してみたいです。

皆様も何かと大変だとは思いますが、これからも素敵なカップルを大勢つくってくださいね。

（平成八年七月、旅行先にて）

# カップルのみなさんから一言

（平成八年一月二十一日、丹頂の里にて）

（平成八年八月、お二人で）

## 若宮ご夫妻、当時を振り返って

父の友人から勧められて、軽い気持ちで参加したのですが、想像を上回るほど感動させられ私たちの一生の思い出となりました。また、色々な所へ連れていってもらい、短いけれど本当に楽しい四日間でした。

９月の末に子供が生まれました。阿寒に行ったときにはまだ気づいていなかったのですが、あの時実は、三人で行っていたことになります。

実行委員のみなさん、お世話になったみなさん。本当にありがとうございました。

機会がありましたら、阿蘇の方にもぜひ遊びに来てくださいね。

## 山崎聖人さん佳世さん

《熊本県大矢野町》

**山崎　聖人**

「楽しいこと、嬉しいこと、感動したこと、いっぱい、いっぱいあったけど、手作りの露天風呂にみんなで入ることができ、おまけに雪の中に飛び込むこともできて本当に良かったです。」

**山崎　佳世**

「式の途中、たくさんの鶴が飛んできて、とても感激しました。１年前からの夢が叶って良かったです。本当に良かったです。」

## 天本康雄さん佐藤日出美さん

《大分県湯布院町》

**天本　康雄**

「真っ白な大地とつがいの丹頂鶴と暖かいスタッフの皆様のお陰で、心温まる結婚式に参加されたことを大変感謝しています。全国で永遠の誓いをするカップルは数多くありますが、阿寒の丹頂結婚式は言葉に出来ないほどの感動があります。盛大な結婚式ではありませんが、スタッフを始め関係者が手作りでやられている事、そして、一人一人の思いが参加した私達に伝わってきます。私達はこの感動を忘れはしない。真っ白な大地と丹頂鶴と皆さんの前で誓った事はこれからも二人の心の中で生き続けていきます。スタッフの皆さん本当にありがとうございました。」

**佐藤　日出美**

「白銀の世界の美しさ、丹頂の舞の美しさ、そして、人の心の美しさに触れた丹頂結婚式でした。
阿寒は人間が人間らしくいられる素敵な町です。“ふるさと”を大切にする気持ちを持ったスタッフからたくさんのお祝いをしていただき本当に幸せでした。」

## 野口　睦さん千緒里さん

《熊本県阿蘇町》

**野口　睦・千緒里**

「釧路空港に降りると日中でもマイナス５℃。雪が降り出したと思ったら30分で積もってしまった。北海道へ来たんだと実感。
翌日、周辺の観光や阿寒湖でのワカサギ釣り、スノーモービルを楽しんだ。
結婚式は丹頂観察センターの前で、約１００羽の丹頂鶴が見守る中行なわれた。佐々木町長から木工細工に２人の写真をはめこんだステキな証明書をいただきました。
阿寒町の大自然も食べ物もよかった。が、なによりも４日間お世話いただいたフェスティバル実行委員の皆さん、また、地元の皆さんが終始、温かく迎えてくれたことに感激。今でも胸いっぱいです。
　ぜひ今度は、子供も一緒に阿寒町を訪問したいと思います。」

## 輪倉悦郎さん伸江さん

《北海道札幌市》

**輪倉　悦郎**

「私の一番の思い出はやはり丹頂鶴の前での結婚式です。晴天の中たくさんのツルの鳴き声、舞い、本当に祝福に来てくれているような気がしました。丹頂結婚式に参加出来た事は一生の思い出です。
又、結婚式に並ぶくらい心に残った事はスタッフの皆さんはたいへん苦労をなさった事でしょうが、露天風呂。これは最高に感激しました。スタッフの方々と酒もりしながらの風呂は楽しい時間でした。
他にもいろいろな企画を立てていただき、楽しい時を過ごさせてもらい本当にありがとうございました。
これからも阿寒町を訪れ、又、皆様に会える事を楽しみにしております。」

**輪倉　伸江**

「たくさんの丹頂鶴を目の前にしての私達にとって一生忘れる事のない思い出になりました。スタッフの皆様の温かい心使いには、お礼申し上げます。
丹頂の里を私達の出発点として、思い出の地として何度も阿寒を訪れたいと思います。」

# 今回参加のカップルの紹介

## 福田　亮さん照子さん

《北海道阿寒町》

**福田　亮**

地元なので、照れくさいです。
全国に仲間ができて楽しかったです。いつか、阿寒で同窓会をやりたいですね。スタッフの皆さんに感謝申し上げます。

**福田照子**

楽しかったです。ホント。
いつでも、遊びに来て下さい。

# ポスター・チラシの紹介

あ感動
'89 1/21 22
阿寒町タンチョウの里
21日 17:30~
22日 10:00~
TANCHYO FESTIVAL
第6回丹頂フェスティバル

阿寒町であったかい感動を体験してみませんか!!
AKAN TANCHOU FES
第11回
丹頂フェスティバル
とき 平成6年1月16日日/阿寒町上阿寒・あかんランド丹頂の里
10:00~丹頂感謝祭
11:00~丹頂結婚式
12:00~丹頂トライアル
15:00~終了予定
11:00~全国鶴銘柄酒試飲会(無料)
各種売店
牛の丸焼き実演販売
感動の冬体験、北海道阿寒町。
主催●丹頂フェスティバル実行委員会
JAS

阿寒町であったかい感動を体験してみませんか!!
AKAN TANCHOU FES
第10回
丹頂フェスティバル
とき 平成5年1月16日・17日
ところ 阿寒町役場前広場
1/16 丹頂結婚式
1/17 熱闘!! 丹頂丸太引きレース
おもしろいんだナァ~これが。
主催・丹頂フェスティバル実行委員会/協賛 JAS・阿寒ライオンズクラブ
●問い合せ/丹頂フェスティバル事務局 0154-66-3311

感動の冬体験 北海道阿寒町
阿寒町であったかい感動を体験してみませんか!!
第12回
丹頂フェスティバル
とき 平成7年1月22日(日)
丹頂感謝祭(タンチョウ観察センター)
丹頂結婚式(タンチョウ観察センター)
雪上サイクリングミニ・トライアスロン
丹頂トライアル
全国鶴銘柄酒試飲会(無料)
各種売店
牛の丸焼き実演販売
丹頂絵画コンクール
犬ぞりレース(協賛/KSDC)
主催●丹頂フェスティバル実行委員会
JAS

第13回
阿寒町であったかい感動を体験してみませんか!!
丹頂フェスティバル
とき 平成8年1月21日日 10:10~
阿寒町上阿寒・あかんランド丹頂の里
丹頂感謝祭
丹頂結婚式
雪上サイクリングミニ・トライアスロン
丹頂トライアル
全国鶴銘柄酒試飲会(無料)
牛の丸焼き実演販売
各種売店
丹頂絵画コンクール
犬ぞりレース
主催●丹頂フェスティバル実行委員会
JAS

TANCHOU FESTIVAL
あ感動
'91 1/19 20日
あかんランド丹頂の里
19日前夜祭 18:00~
20日 あまつり 11:00~
第8回 丹頂フェスティバル

# カップル募集要項

## 丹頂鶴のように愛を誓いたいカップル大募集!!

AKAN·TANCHOU·FES

冬の北海道で丹頂(鶴)と共に結婚式!!

「丹頂鶴に祝福されてウェディング」

北海道・阿寒町…ここには毎年冬になると沢山の丹頂鶴が飛来します。この季節は、外は一面の銀世界となり草木も長い眠りにつき、真っ白に色を塗り替えた広い大地と輝く青い空のコントラストが感動を与えてくれる。その青い空を冬の使者である丹頂鶴が飛んでくる。丹頂鶴は一度つがいになると一生離れることなくその愛を営んで行く。阿寒町では、毎年「丹頂フェスティバル」というイベント中で、この丹頂鶴にあやかり、「丹頂結婚式」を開催しています。つがいの丹頂鶴が見守る中、白銀の世界で永遠の愛を誓ってみませんか。

**丹頂フェスティバル**
**《丹頂結婚式》**

●開催日/平成6年1月15日(土)16日(日)●開催場所/北海道阿寒郡阿寒町[特設会場]

[参加料] 1カップルにつき
- ●東京方面の方　70,000円
- ●九州方面の方　90,000円
- ●札幌方面の方　30,000円

[参加資格]
当日参加可能な結婚予定カップル又は新婚さん(原則として)

[申し込み]
封書にてお二人の住所・氏名・年齢・TEL・勤務先・出合いのきっかけをお書きになりスナップ写真を同封の上、下記に送付下さい。(応募多数の場合は抽選により2組)
〒085-02
北海道阿寒郡阿寒町中央町一阿寒町役場振興課内
丹頂フェスティバル実行委員会事務局
◆締切日/平成6年1月7日(消印有効)

◆特典◆
1. 神式での挙式(参列者は200羽の丹頂鶴ほか)
2. 東京↔釧路往復航空券(または札幌↔釧路)
3. 観光ツアー　4. 結婚祝賀会
5. 宿泊ご優待(サークルハウス赤いベレー(2泊3日食事付))
6. 記念品贈呈
(結婚証明書・記念写真・記念品)ほか

お問合せ　丹頂フェスティバル実行委員会事務局 (0154) 66-2121

## 丹頂鶴のように……愛を誓いたいカップル大募集!!

第14回 丹頂フェスティバル
《丹頂結婚式》

開催日● 平成9年1月18日(土)・19日(日)
開催場所●北海道阿寒町丹頂の里(特設会場)

「丹頂鶴に祝福されてウェディング」

北海道・阿寒町…ここには毎年冬になると沢山の丹頂鶴が飛来します。この季節は、外は一面の銀世界となり草木も長い眠りにつき、真っ白に色を塗り替えた広い大地と輝く青い空のコントラストが感動を与えてくれる。丹頂鶴は一度つがいになると一生離れることなくその愛を営んで行く。阿寒町では、毎年「丹頂フェスティバル」というイベントの中で、この丹頂にあやかり、「丹頂結婚式」を開催しています。つがいの丹頂鶴が見守る中、白銀の世界で永遠の愛を誓ってみませんか。

★参加料・1カップルにつき
(航空運賃・宿泊・食事・諸費用込み)
- 東京方面の方　100,000円
- 九州方面の方　120,000円
- 札幌方面の方　50,000円

[参加資格]
当日参加可能な結婚予定カップル又は新婚さん(原則として)

[申し込み]
封書にてお二人の住所・氏名・年齢・TEL・勤務先・出会いのきっかけをお書きになりスナップ写真を同封の上、下記に送付ください。

【応募多数の場合は抽選により選出】

〒085-02 北海道阿寒郡阿寒町中央町1-4-1
阿寒町役場振興課
丹頂フェスティバル実行委員会事務局

●締切日/平成8年12月1日(消印有効)

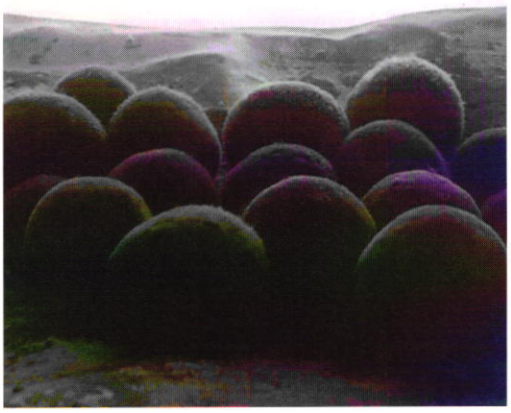
◆特典◆
1. 神式での挙式
(参列者は200羽の丹頂鶴ほか)
2. 観光ツアー　3. 結婚祝賀会
4. 宿泊ご優待
(サークルハウス赤いベレー(3泊4日食事付))
5. 記念品贈呈
(結婚証明書・記念写真・記念品)ほか

お問合せ》丹頂フェスティバル実行委員会事務局　電話(0154)66-2121

# 阿寒町の紹介

阿寒町は、北海道の南東部（道東）の内陸に位置し、雄大な自然の阿寒国立公園を有する観光と農業の町です。阿寒国立公園の阿寒湖には特別天然記念物『阿寒湖のマリモ』が生息し、年間約160万人の観光客が訪れます。

又、冬期間には、釧路湿原に棲息する特別天然記念物『タンチョウ』が阿寒の里を訪れます。この二つの特別天然記念物と、自然が阿寒の町を支えています。



## マリモ

『阿寒湖のマリモ』は、明治30年、川上滝弥（現北海道大）により、発見され昭和27年にはその美しさ、神秘性により特別天然記念物に指定されました。一時絶滅の危機が懸念され、地域住民により、マリモ返還運動や保護思想の普及のため、マリモ祭りが昭和25年に始まりました。まりも祭りは以後毎年行なわれ、本年で第47回を迎え、今では、札幌雪まつりに並ぶ歴史の歴史のあるイベントになりました。

## タンチョウ

湿原の神タンチョウは古くから、全道に棲息していたといわれていますが、大正期には絶滅していたと考えられていました。阿寒町には、昭和25年農家の庭先に舞い降りたタンチョウにトウモロコシのエサを与えたことから人工給餌が始まり、道東各地で行なわれる様になりました。現在のタンチョウの里は、こうして生まれました。以後町民のシンボルでもあり、冬の観光の中心でもあります。

## 主なイベント

| | |
|---|---|
| 1月 | 丹頂フェスティバル |
| 2月 | 阿寒湖氷上フェスティバル |
| 4月 | 阿寒湖水開き |
| 6月 | 阿寒町ふるさと祭り |
| | 阿寒湖上花火大会 |
| | 雄阿寒岳山開き |
| 9月 | 阿寒町味覚物産祭り |
| 10月 | マリモ祭り |

# あとがき

平成８年４月より始まったこの記念誌作り。

第14回丹頂フェスティバルの開催準備と並行しての原稿準備は予想以上に大変でした。特に丹頂フェスティバル初期の写真や資料は紛失している物も多く、記念誌の内容も当初の予定から二転、三転して出来上がったのがこの本です。

丹頂結婚式十年の歴史と14回をかぞえたフェスティバルの情景をできる限りおさめておりますので、どうか過ぎ去りし思い出にひととき浸っていただければ幸いに存じます。

なお、記念誌製作にあたりご協力いただきました関係各位に心よりお礼申し上げまして、この本のあとがきとさせていただきます。

平成９年３月吉日

製　　作　阿寒町丹頂フェスティバル実行委員会
発　　行　釧路綜合印刷株式会社
問い合わせ先　〒085-02
北海道阿寒郡阿寒町 阿寒町役場
丹頂フェスティバル実行委員会事務局
0154-66-2121

# 協賛事業所

協賛事業所各位様（アイウエオ順）　ご協賛ありがとうございました。

| | | |
|---|---|---|
| 1. | 阿寒町建設協会 | 阿寒町富士見3丁目9番12号 小野寺組内 |
| 2. | 阿寒町商工会 | 阿寒町新町2丁目6番3号 |
| 3. | 阿寒ライオンズクラブ | 阿寒町新町2丁目6番3号 商工会内 |
| 4. | 阿寒自動車工業（株） | 阿寒町仲町2丁目5番29号 |
| 5. | 阿寒ミンク | 阿寒町富士見3丁目18番2号 |
| 6. | 阿寒ロイヤルバレイゴルフ、スキー場 | 阿寒町富士見 |
| 7. | 朝霧理容所 | 阿寒町北町2丁目3番4号 |
| 8. | そば処　東屋 | 阿寒町中央4丁目2番1号 |
| 9. | 石岡理容所 | 阿寒町北新町1丁目6番11号 |
| 10. | 居酒屋ちろりん村 | 阿寒町中央2丁目15番12号 |
| 11. | うめざき洋品店 | 阿寒町中央2丁目1番37号 |
| 12. | お菓子と贈答用品の店　松屋 | 阿寒町中央4丁目3番1号 |
| 13. | 貸し衣裳　衣舞 | 釧路市星が浦大通り1丁目 |
| 14. | 喫茶エルム | 阿寒町新町2丁目4番28号 |
| 15. | 木下自動車整備工場 | 阿寒町中央2丁目1番32号 |
| 16. | サンオイル商事 | 阿寒町新町2丁目2番6号 |
| 17. | サンクス阿寒店 | 阿寒町仲町2丁目2番2号 |
| 18. | ＪＡ阿寒町 | 阿寒町北新町1丁目4番1号 |
| 19. | 新星堂書店 | 阿寒町北新町2丁目1番2号 |
| 20. | 釧路信用金庫阿寒支店 | 阿寒町新町2丁目3番2号 |
| 21. | 末広食堂 | 阿寒町新町2丁目3番5号 |
| 22. | 菅原理容所 | 阿寒町新町2丁目4番12号 |
| 23. | セブン・イレブン阿寒店 | 阿寒町中央4丁目1番46号 |
| 24. | 釧十運輸（株） | 阿寒町新町2丁目7番8号 |
| 25. | タイヤセンター田中 | 阿寒町旭町1丁目6番6号 |
| 26. | 高橋運輸（有） | 阿寒町西阿寒 |
| 27. | のぶ美容室 | 阿寒町中央4丁目2番40号 |
| 28. | 藤丸自動車整備工場 | 阿寒町中央2丁目1番1号 |
| 29. | 焼肉宝寿苑 | 阿寒町北町2丁目2番1号 |
| 30. | 吉田新聞店 | 阿寒町新町2丁目4番13号 |

AKAN·TANCHOU·FES